

令和6年度 ミニトマト(アンジェレ) 技術情報 No. 1



- ① 定植後は、手かん水や液肥散布で活着を促しましょう。
- ② 梅雨時期までは、葉かび病、アブラムシ類、アザミウマ類の発生に注意しましょう。
- ③ 薬剤散布は防除暦を参考に病気が発生する前から開始しましょう。

1 定植後の管理

- (1) 定植後は**手かん水**を実施し、活着をうながします。かん水量の目安は1L/株です。ハウス内の湿度が高くなる曇雨天の日や夕方を避け、**晴れた日の午前中**に行いましょう。
- (2) 葉色が薄い場合は、液肥を散布し、**葉色の回復**をうながしましょう。
- (3) 気温は**日中25~28℃、夜間12℃**を目標に**換気と保温**で調節します。高温期に備えて**遮光資材**を準備しましょう。
- (4) **追肥**は、**3段目が開花**した頃から開始し、10~14日毎に**窒素成分で2g/株**を施肥します。

2 病害虫防除のポイント

- (1) 「TY アンジェレ」は**葉かび病、萎凋病**に抵抗性を持つ品種です。抵抗性品種の場合でも**草勢の低下**や**薬剤散布が不十分**な場合には病気が増加しやすくなります。薬剤散布などの防除を徹底しましょう。
- (2) 定植から梅雨時期までは、**葉かび病(すすかび病)、アブラムシ類、アザミウマ類**の発生に注意しましょう。
- (3) **薬剤散布**は防除暦を参考に、**病気が発生する前から開始し、10日間隔**での散布を継続します。散布時は、下位葉の表裏まで十分にかかるように丁寧に散布しましょう。
- (4) 萎ちょう病などの**土壌病害**の拡大防止のために、他の生産者ほ場を訪問する場合には、**靴カバーを着用**しましょう。

3 トマトトーン処理について

- (1) トマトトーンによるホルモン処理は**確実な着果と肥大促進**の効果があります。
- (2) **処理の適期は、開花前後の3日間位**です。
- (3) ミニトマトは花数が多いので、**ひとつの花房あたり数回の処理が必要**です。ただし、使用回数は1花につき1回までです。使用回数を超過しないため、トマトトーンを希釈するときは、食紅を添加し、処理済みの花に赤い目印がつくようにしましょう。
- (4) 使用する場合は農薬登録を遵守してください。

表1 トマトトーンの農薬登録内容

| 作物名 | 使用方法 | 希釈倍数 | | 使用時期 | 使用目的 | 本剤の使用回数 |
|-------|------|----------------|------|----------------------|--------------------------------|-------------|
| ミニトマト | 散布 | 低温時 (20℃以下) | 50倍 | 開花前3日 ～開花後3 日位 | 着果促進、 果実の肥大 促進、熟期 の促進 | 1花につき 1回 |
| | | 高温時 (20℃以上) | 100倍 | | | |

※令和6年3月31日の農薬登録情報に基づき作成しています。



図1 トマトトーン散布のポイント

★**いわてアグリベンチャーネット** URL: <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>
 岩手県からのお知らせに加えて、農業技術情報や病害虫に関する情報、各地域の情報など盛りだくさんです。ぜひご覧ください！！

★**3月1日～5月31日**は**山火事防止運動月間**です。
 春は乾燥し、風が強い日が多いため、山火事が起こりやすくなります。
 令和6年山火事防止運動統一標語「忘れない 山の恵みと 火の始末」